



## DG2015-15 経過報告 内因性化合物の定量 (2)

- 目的
  - 「DG2014-08」の議論で見えてきた課題、「代替マトリックス選択の妥当性」についてさらに深く議論を行い、実験現場での判断に役立つ形でまとめる。
- 議論のテーマ
  - 測定対象: 低分子、蛋白・ペプチドの内因性物質
    - 生理活性物質(医薬品)を投与する場合
    - バイオマーカー
    - 刺激等によって減少する場合
  - 分析手法(LC/MS及びLBA)



- 経過報告

- 代替マトリックスの選択方法
- 代替マトリックス妥当性の確認方法
- 内因性物質のゼロ値の求め方
- LBAとMSの違い

現在, DGを2つのチーム(LBAチームとLC/MSチーム)に分け、  
項目をピックアップし, DG参加メンバーにて解決策や推奨案を検討中

- 第7回JBFシンポジウムでの発表

- DG参加メンバーの意見をとりとまとめ, 代替マトリックス選択のフローチャートとしてポスターにて発表する予定
- ポスター会場にて参加者の意見・見解を収集して発表する予定